

学務部からのお知らせ

学長による学生表彰式

平成19年3月20日、学術研究活動や課外活動において顕著な業績・成績を挙げた学生個人または団体を讃える学長表彰式を実施しました。

この表彰は、新潟大学学則・大学院学則の規定に基づき、特に重要な表彰について学長が行うもので、今回表彰を受けたのは、学術研究活動で個人表彰2件、課外活動で団体表彰2件の計4件で、個人及び団体の代表者一人ひとりに長谷川学長から表彰状と記念品が授与されました。

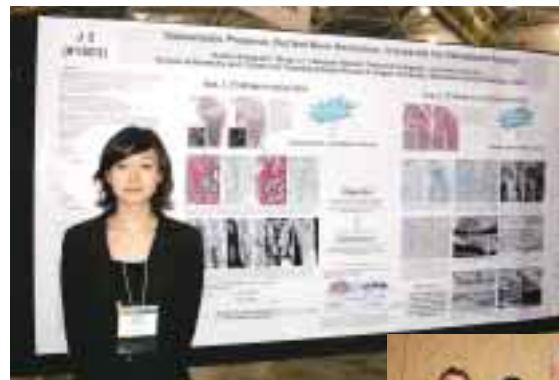


● 受賞者の声

学長による学生表彰を受賞して

歯学部歯学科6年 坂上直子

2006年、オーストラリア開催の国際歯科研究学会においてハットンアワードジュニア部門の日本代表として、同学会のトラベルアワードを受賞しました。今回このことに対して学生表彰をいただき大変嬉しく思っております。私の研究のテーマは、骨芽細胞の機能活性に対して破骨細胞が与える影響です。学部3年の頃より骨に異常の認められるマウスと正常マウスを光学・電子顕微鏡を用いて骨の細胞と石灰化の程度を観察し比較検討してきました。研究を続けてきた中で、その全てが自分の糧となっており、基礎研究で得たものは、将来歯科治療に携わる際にも役に立つものと信じています。これからも自分が日々成長できるようにチャレンジする前向きな姿勢を持ち続け、何事にも努力したいと思っております。今回の表彰は、多くの先生方にご指導していただいた賜物であり、お世話になった方々に感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。



学会会場にて



トラベルアワード表彰式

トラベルアワード表彰式にて
マレーシア代表の学生と

● 受賞者の声

地球からの贈り物

大学院自然科学研究科2年 寺部和伸

「カン、カーン!」

山深い谷間の斜面にはりついて、私はハンマーを振るっていた。2003年の秋のことである。その時、見慣れない化石が目飛びこんできた。

「なんだろう?…カニの甲羅かな?まあ、取り敢えず持っていくか。」これが、後の新属新種の発見となる“ニッポノポン・ハセガワイ”との出会いであった。

その後、この化石のクリーニング作業をおこない、カニ化石であることを確信した私は、甲殻類化石の専門家である柄沢博士に連絡を取り、柄沢博士と加藤博士の同定により未記載種であることが判明した。生物学的な記載を両博士が、産出した地層や年代特定を私が担当し、共同研究という形で2006年に国際誌で正式に発表した。

1つの化石は小さなものであるが、それらには時代や環境を推

定したりと、膨大な情報を含んでいる。今回の化石も1億3000年という時を経て、私たちに多くの発見を与えてくれた。いわば地球の贈り物である。



調査中の一コマ

ニッポノポン ハセガワイ
タイプ標本

● 受賞者の声

仲間と共に歌う喜び

新潟大学合唱団(教育人間科学部3年) 宮崎翔多

昨年度、全日本合唱コンクール全国大会にて、部門一位の金賞・熊本県教育委員会賞を受賞しました。私たちは長年コンクールに出場して来ましたが、昨年初めて全国大会へ駒を進めることが出来ました。初めての大舞台に戸惑いながらも、顧問の松浦良治先生、外部講師の先生方やOBの方々など多くの方々の支えの下で自分たちの出来る精一杯の演奏をし、そして演奏を大いに楽しもうと団員が一丸となったことが今回の素晴らしい賞につながったのではないかと思います。

今年度のコンクールでは、シードによって全国大会への出場が決まっています。昨年度金賞を受賞した合唱団として恥ずかしくない演奏が出来るように気を引き締めつつも、音楽の好きな仲間と集い、共に歌える喜びを噛みしめながら日々活動していきたいと思っています。



第59回全日本合唱コンクール全国大会 2006. 11.25 熊本県立劇場

● 受賞者の声

逆境の中での金賞

新大室内合唱団(人文学部4年) 渡部 知

私たち新大室内合唱団は、平成18年の第59回全日本合唱コンクール全国大会大学A部門で金賞を受賞しました。A部門は32人以下の少人数での合唱の部門です。新大室内合唱団は少人数での繊細な合唱を目標にして活動しています。私たちは、平成17年の第58回全日本合唱コンクール全国大会では銀賞を受賞しました。そこで次の目標として全国大会での金賞を目指し、練習を重ねてきました。昨年はそれまで利用していた練習場所がほとんど使えなくなり、新たな練習場所を探しながら、落ち着かない状態で練習をしていました。しかし、そうした不安定な状況の中でも団員は曲作りに集中し、指揮者の箕輪久夫先生の指導の下、練習にはげみました。課題曲のF.グレロ作曲Sancta Mariaと、自由曲のP.コステアイン作曲Gloriaは、この年の思い出深い曲になりました。このときの気持ちを忘れずに、今年も活動していきたいと思っています。



2006年11月25日熊本県立劇場にて

学業等成績優秀者奨学金授与式

平成19年4月26日、入学試験成績優秀者及び年間学業成績優秀者に対する奨学金授与式を実施しました。

この奨学制度は、優秀な学生の確保、在学生の更なる学業成績の向上と活力の醸成を図ることを目的として、昨年度から新たにスタートした本学独自の制度であり、各学部(医学部は学科)の入学試験成績上位者30人、各学部・学年の年間学業成績優秀者102人に奨学金が授与されました。中には昨年度に引き続き授与された者が相当数おり、同制度の導入による、更なる成果が期待されています。

授与式では、長谷川学長から、賞状と奨学金目録が各学部等の代表者に渡され、「今後も、自発的・積極的に学ぶ姿勢を堅持し、自己の完成を目指して、更なる研鑽を積み、他の学生の模範となり、さらに牽引していくよう期待します。」との挨拶がありました。

